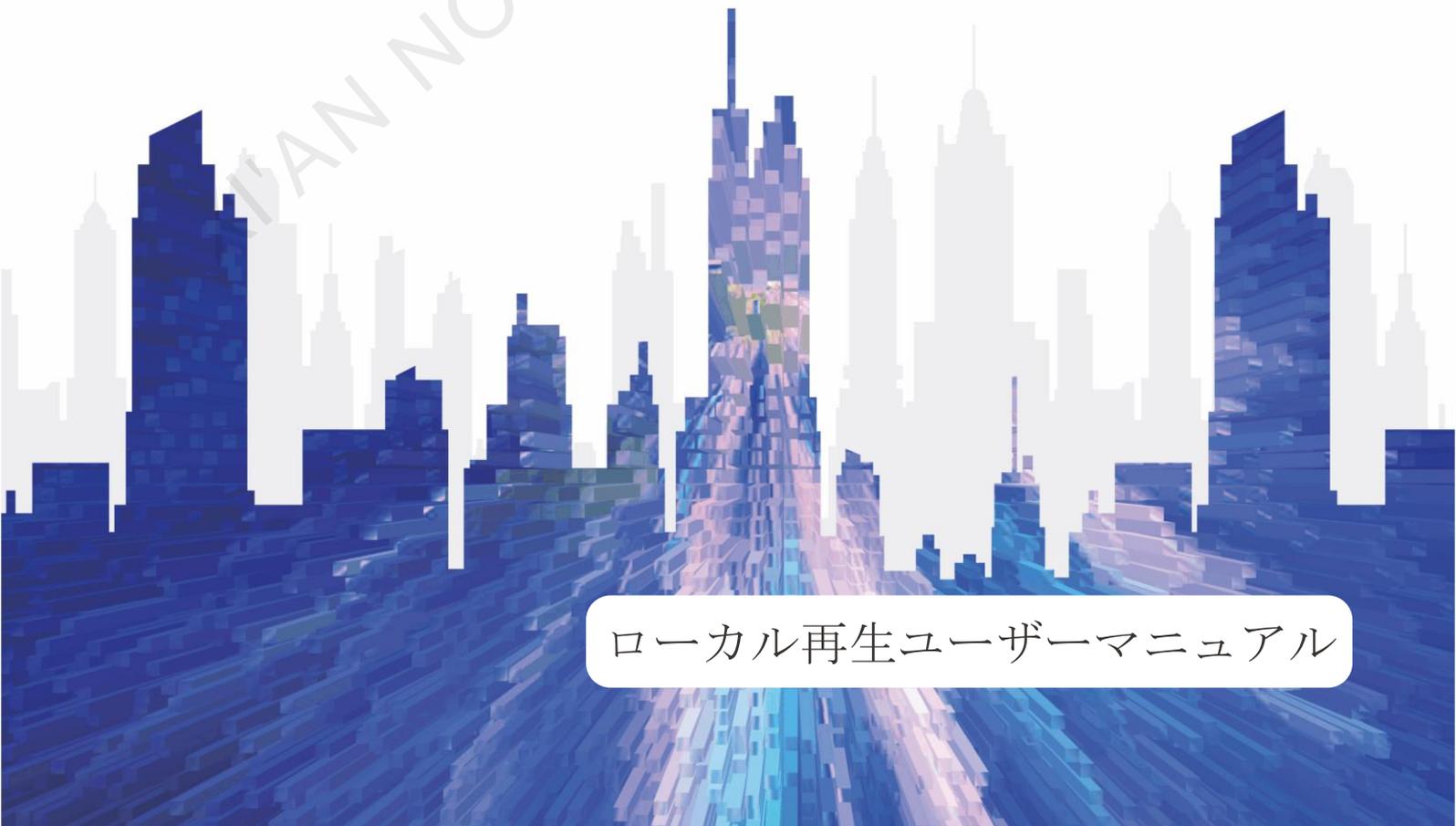


ViPlex Express

PC 側ディスプレイ情報配信管理システム

V2.0.0 NS120300869



ローカル再生ユーザーマニュアル

目次

目次	I
1 ソフトウェアのご案内	1
2 クイックガイド	3
2.1 PC の準備	3
2.2 ソフトウェアのインストール	3
2.3 PC 構成項目のチェック	3
2.3.1 Windows 自動アップデート	4
2.3.2 ファイアウォール	4
2.3.3 画面オフとスリープ	4
2.3.4 拡大縮小と複数のディスプレイ	5
2.3.5 UAC	5
2.3.6 Antimalware Service Executable	6
2.3.7 Superfetch	7
2.4 ディスプレイへの接続	7
2.5 動作モードの選択	8
2.6 スケジュールの新規作成	8
2.7 再生ウィンドウの設定	9
2.8 スケジュールの編集	9
2.9 スケジュールのプレビュー	9
2.10 スケジュールの再生	10
2.11 再生ログの検索	10
3 スケジュール管理	11
3.1 起動画面におけるスケジュールの管理	11
3.1.1 スケジュールの新規作成	11
3.1.2 過去スケジュールを開く	11
3.1.3 スケジュールの削除	11
3.2 スケジュールの編集ページにおけるスケジュールの管理	11
3.2.1 スケジュール名の変更	12
4 スケジュールの作成	13
4.1 スケジュールの編集	13
4.1.1 ページの追加	13
4.1.2 コンテンツの追加	14
4.1.3 コンテンツの調整	16
4.2 カスタムテンプレート	17
4.3 ビューの切替	18
4.4 スケジュールのプレビュー	19
4.5 スケジューリングの表示	19
4.6 スケジュールの再生	19
4.7 画面のモニタリング	19
5 再生ウィンドウ	20
5.1 再生ウィンドウの設定	20
5.2 再生ウィンドウの表示・非表示	20
6 再生ログ	21
6.1 再生ログの検索	21

6.2 再生ログのエクスポート	21
7 システム設定	23
7.1 言語切替	23
7.2 動作モードの切替	23
7.3 選好設定	23
7.3.1 起動して再生	23
7.3.2 再生ウィンドウを表示・非表示にするショートカットの設定	23
7.4 ユーザーマニュアルの表示	23
7.5 ソフトウェアアップデートの検出	24
7.6 フィードバックの送信	24
7.7 ソフトウェア情報の表示	25
8 FAQ	26
8.1 ファイアウォールインバウンドの設定ルール	26
8.2 ローカル再生に対応のビデオ形式	27

1 ソフトウェアのご案内

ViPlex Express はスケジュールを作成し LED ディスプレイ・LCD ディスプレイで再生を行う Windows オペレーションシステム向け PC 側ディスプレイ情報配信管理システムです。非同期再生モードの場合は、マルチメディアプレイヤーの管理もできます。本文ではローカル再生モードの機能と操作についてご説明いたします。

ViPlex Express は NOVASTAR クラウドに関するソリューションを構成する一部です。ローカル再生の起動画面において左側のメニューから「クラウドプラットフォーム」を選択し、関連情報を表示できます。

2つの動作モード

ViPlex Express は動作モードを 2 つ搭載しており、利用するシーンに応じて必要とするモードに切り替えることができます。

✦ ローカル再生

ViPlex Express で再生するスケジュールを、ディスプレイではリアルタイムに同期表示を行って同期再生するシーンに利用します。

再生ウィンドウは PC の拡張スクリーンにおいて画面モニタリングを行ってメインディスプレイで現在再生している様子を確認できます。

✦ 非同期再生

ViPlex Express はスケジュールをマルチメディアプレイヤーに複数送信し、これをマルチメディアプレイヤーによってローカルに保存してプレイプランに沿って再生を行い、マルチメディアプレイヤーがディスプレイをローディングするシーンに利用します。

プロスケジュールの作成

ViPlex Express はプロスケジュールの作成機能を搭載しており、必要に応じて豊かかつスケジューリングの複雑なスケジュールを作成できます。

✦ 複数ページ

スケジュール毎にページを複数追加できます。上から下へと順次再生されます。

✦ 柔軟性のあるレイアウト

ページを追加時にシステムテンプレートを直接に利用することができるのはもちろん、テンプレートのカスタマイズも可能です。テンプレートではウィンドウの数や座標、幅に対してフレキシブルな設定を行うことができます。

✦ 様々なコンテンツ

ページでは共通ウィンドウや折ウィンドウ、Office ファイル、画像、ビデオ、GIF、テキスト、ブリリアントワード、デジタル時計、アナログ時計、タイマー、天気、RSS、ストリーミングメディア、ウェブページの追加に対応します。

✦ 様々なプロパティ

コンテンツはタイプ毎に豊富なプロパティを持つので、様々なニーズを満たしてバラエティに富んだスケジュールを仕上げる事が出来ます。

✦ 任意なスケジューリング

ページ毎に再生する時間帯とサイクルの設定が行えます。現在ページのスケジューリングは他のページに複数利用できます。複数ページの時間帯が重なった場合は、上から下へと順次再生されます。

✦ クイックプレビュー

プレビューボタンを押して現在画面をすぐにプレビューできます。他のページに切り替えるときはウィンドウが速やかに更新されます。

端末全体の管理

ViPlex Express は非同期再生モードの場合は、マルチメディアプレイヤーに対して輝度調整やタイマー管理、フォント管理、端末アップグレード、ビデオソース切替、スクリーン状態のコントロール、再生ログの検索、ネットワーク構成、無線周波数管理など包括的に管理できます。

KI'AN NOVASTAR TECH CO.,LTD

2 クイックガイド

2.1 PC の準備

PC 最低動作環境：

- OS : Windows 7 SP1 64 bit
- CPU : i5
- メモリー : 4GB
- ハードディスク : 60GB

2.2 ソフトウェアのインストール

前提条件

- Framework 4.6.x のインストールをされていること
- Visual C++ 2017 公式版動作時の必要なコンポーネントをインストールしていること。
- ViPlex Express インストールパッケージを取得していること。

取得パス

<https://www.vnox.com/single/download.html>

インストール方法

インストールファイルをダブルクリックし、ガイド画面に沿って ViPlex Express のインストールを完了させます。

2.3 PC 構成項目のチェック

表 2-1 に示すように、安定した再生を行うには、Windows システムの構成項目をチェックしてください。対象状態に一致しない構成項目は変更を行ってください。本章は Windows 10 を例としてご説明いたします。

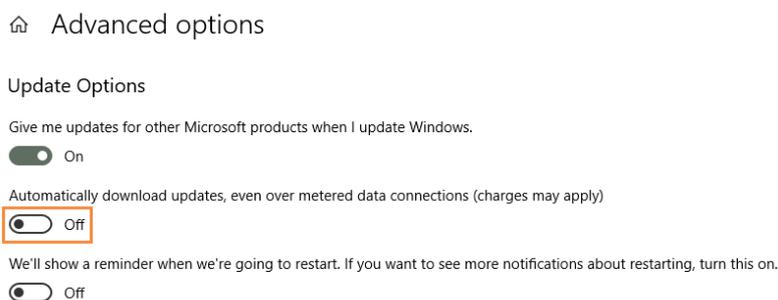
表2-1 構成項目

構成項目	対象状態
Windows 自動アップデート	オフ
ファイアウォール	無効 プログラムの接続を許可 以上何れか一つを満たした場合は OK。
画面オフ	しない
スリープ	しない
拡大縮小	100%
複数のディスプレイ	表示画面を複製する
UAC	無効
Antimalware Service Executable	無効
Superfetch	手動

2.3.1 Windows 自動アップデート

- 手順 1 Windows スタートメニューにある  を開きます。
- 手順 2 「Update & Security」 を選択します。
- 手順 3 「Windows Update」 画面で「Advanced options」をクリックします。
- 手順 4 Windows 自動アップデートをオフにしているかチェックしてください。

図2-1 Windows 自動アップデート

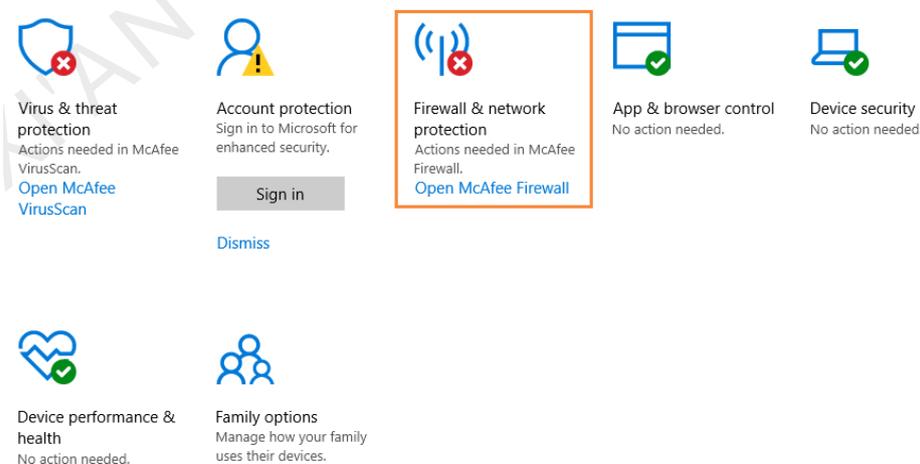


2.3.2 ファイアウォール

- 手順 1 Windows スタートメニューにある  をクリックします。
- 手順 2 「Update & Security」 を選択します。
- 手順 3 「Windows Security」 を選択します。
- 手順 4 「Open Windows Defender Security Center」 をクリックします。
- 手順 5 ファイアウォールをオフにしているかチェックします。どうしてもオンにしなければならない場合は、プログラムへの接続を許可することを設定していないかチェックします。

プログラムの接続を許可するように設定する方法は「[8.1 ファイアウォールインバウンドの](#)」をご覧ください。

図2-2 ファイアウォール

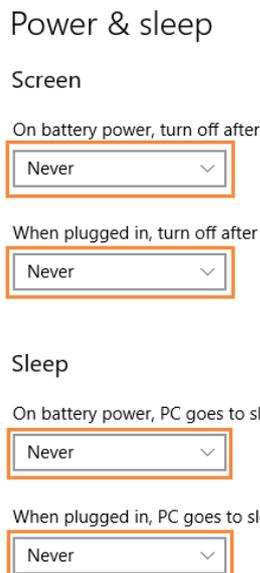


2.3.3 画面オフとスリープ

- 手順 1 Windows スタートメニューにある  をクリックします。

- 手順 2 「System」を選択します。
- 手順 3 「Power & sleep」を選択します。
- 手順 4 4つの構成項目を「Never」にしているかチェックします。

図2-3 画面オフとスリープ

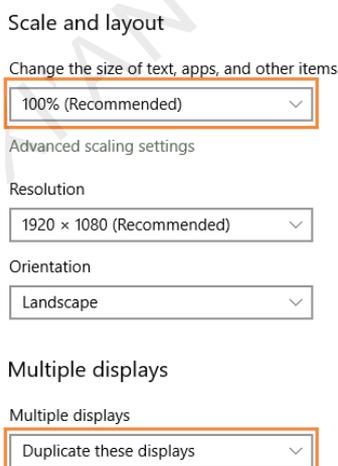


2.3.4 拡大縮小と複数のディスプレイ

- 手順 1 Windows スタートメニューにある  をクリックします。
- 手順 2 「System」を選択します。
- 手順 3 屏拡大縮小を 100%にしているか、複数のディスプレイを「Duplicate these displays」にしているかチェックします。

説明：複数のディスプレイに接続しなければ、複数のディスプレイという構成項目が表示されません。

図2-4 拡大縮小と複数のディスプレイ

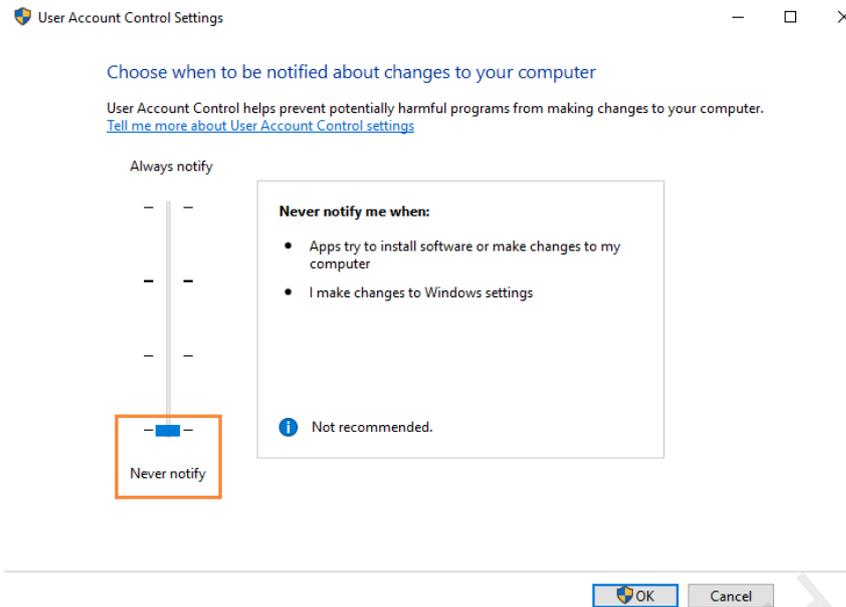


2.3.5 UAC

- 手順 1 Windows スタートメニューにある  をクリックします。

- 手順2 検索ボックスに「User Accounts」を入力し、「Change User Account Control Settings」を選択します。
- 手順3 UACを「Never notify」にしていないかチェックします。

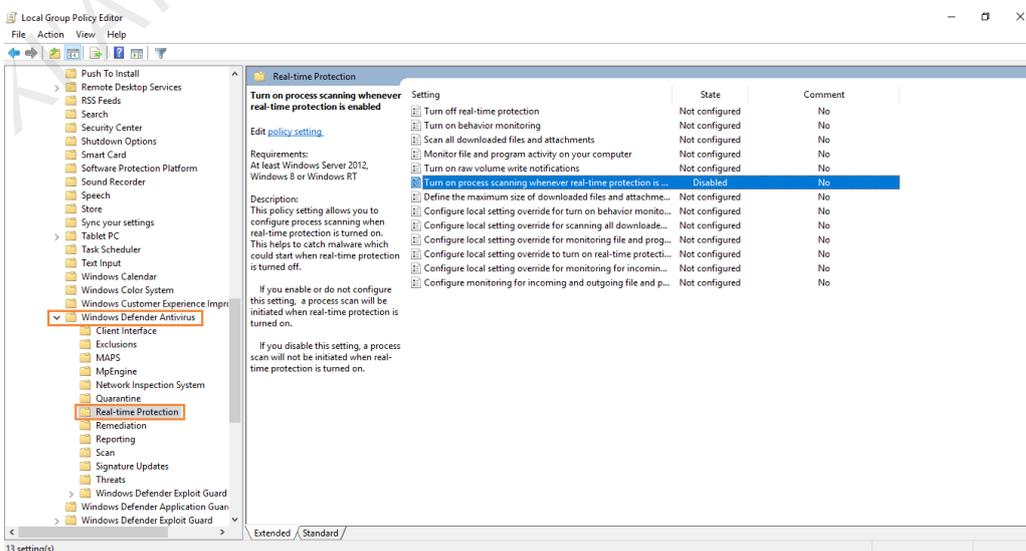
図2-5 UAC



2.3.6 Antimalware Service Executable

- 手順1 「Win+R」キーを押し、ファイル名を指定して実行というウィンドウを開きます。
- 手順2 gpedit.msc コマンドを入力し、「Enter」キーを押し、「Local Group Policy Editor」というダイアログボックスを開きます。
- 手順3 「Computer Configuration > Administrative Templates > Windows Components > Windows Defender Antivirus」を順次に開きます。
- 手順4 「Real-time Protection」をクリックします。
- 手順5 「Turn on process scanning whenever real-time protection is enabled」の状態を「Disabled」にしていないかチェックします。

図2-6 Antimalware service executable



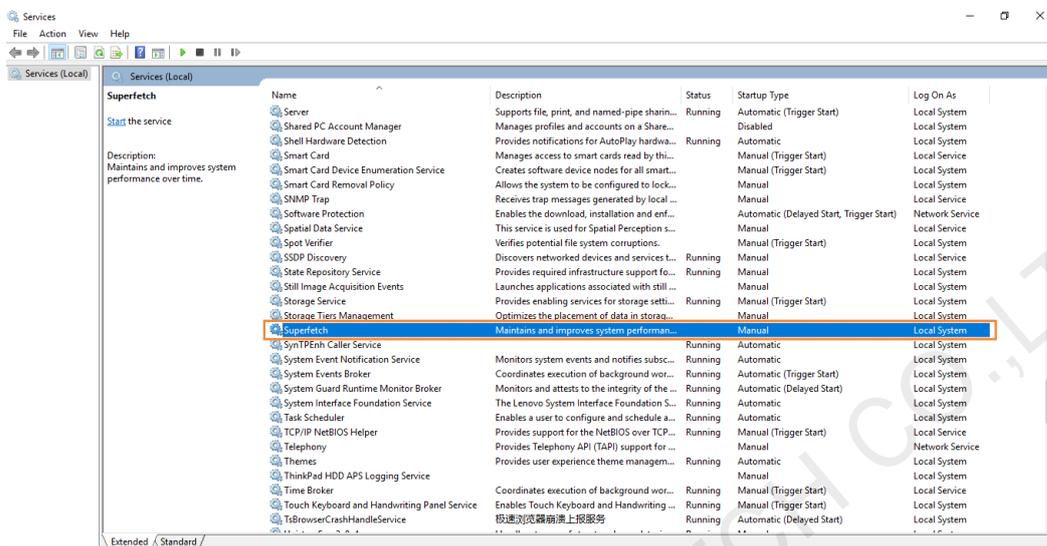
2.3.7 Superfetch

手順1 「Win+R」キーを押し、ファイル名を指定して実行というウィンドウを開きます。

手順2 services.msc コマンドを入力し、「Enter」キーを押し、「Services」ダイアログボックスを開きます。

手順3 Superfetch のスタートアップの種類を「Manual」にしていないかチェックします。

図2-7 Superfetch



2.4 ディスプレイへの接続

図2-8 ディスプレイへの接続



✦ 接続方法 1

ViPlex Express をインストールする PC を送信カードに接続し、LED ディスプレイにビデオソースを与えます。
図 2-8 では送信デバイス MCTRL4K が挙げられます。

✦ 接続方法 2

ViPlex Express をインストールする PC を LCD ディスプレイに直接接続してビデオソースを与えます。

2.5 動作モードの選択

初インストール

ViPlex Express を初めてインストール完了後、ソフトウェアを起動すると「モード選択」というダイアログボックスが表示されます。「ローカル再生」を選択し、「今すぐ起動」をクリックします。

図2-9 モードの選択



その他の状況

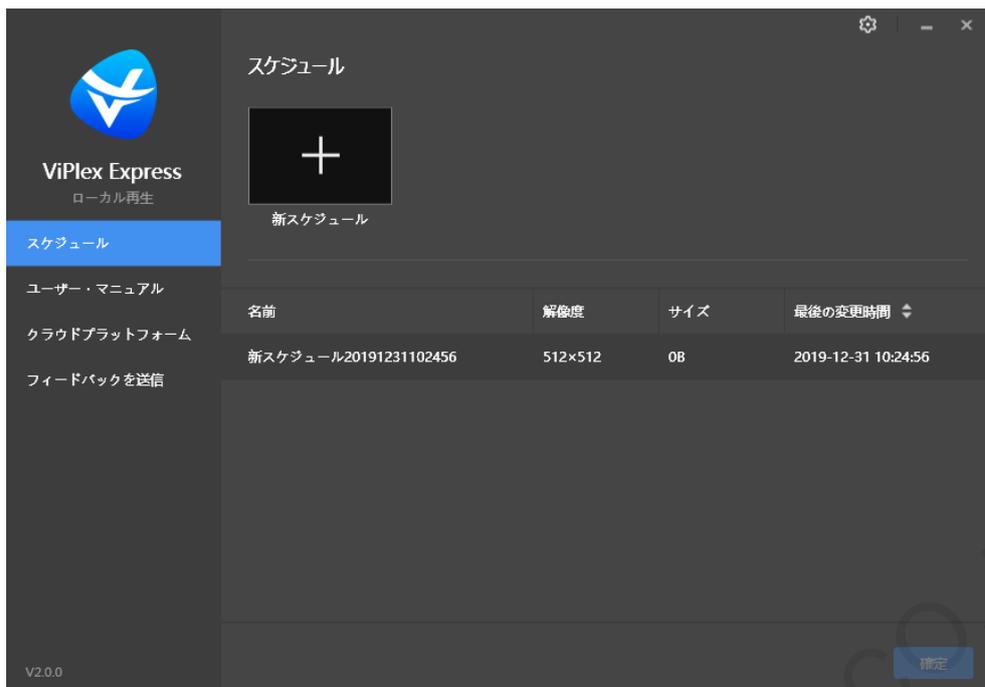
すでに ViPlex Express をインストールしているか動作モードを選択した場合は、図 2-9 に示すダイアログボックスが表示されません。ソフトウェアを起動すると非同期再生モードに入る場合は、以下に記述したようにローカル再生モードに切り替えてください。

画面の右上から「 > 動作モード > ローカル再生」を選択し、「確定」をクリックします。ソフトウェアを再起動するとローカル再生モードに入ります。

2.6 スケジュールの新規作成

ローカル再生モードを選択すると、ローカル再生の起動画面に入ります。ローカル再生モードのスケジュールデータは更新完了後、非同期再生モードに自動同期されます。

図2-10 ローカル再生の起動画面



スケジュールを新規作成前にスクリーンのサイズを事前に取得してください。

スケジュールを新規作成する方法は以下 2 つあります。

-  をクリックし、「確定」をクリックします。
-  をそのままダブルクリックします。

2.7 再生ウィンドウの設定

スケジュールの編集画面では、メニューバーから「再生ウィンドウ > 再生ウィンドウ設定」を選択し、再生ウィンドウの座標や幅・高さ、最前面へ移動のルールを設定を行います。「デスクトップと同様にする」にチェックを付けている場合は、再生ウィンドウはデスクトップのサイズと一致します。

図2-11 再生ウィンドウの設定



2.8 スケジュールの編集

詳細は「[4.1 スケジュールの編集](#)」をご覧ください。

2.9 スケジュールのプレビュー

画面右上にある  をクリックし、現在ページをプレビューします。

プレビューウィンドウを開くときは、他のページを選択してプレビューを行うこともできます。現在ページを変更した場合は、もう一度をクリックすればプレビューウィンドウが更新されます。

2.10 スケジュールの再生

画面右上にあるをクリックし、スケジュールを再生します。ソフトウェアではスケジュールの編集画面が表示されませんが、再生コントロールバーが表示されます。

図2-12 再生コントロールバー



-  : 再生を終了し、スケジュールの編集画面を表示します。
-  : スケジュールの編集画面を展開します。
-  : スケジュールの編集画面を収納します。

2.11 再生ログの検索

詳細は「[6.1 再生ログの検索](#)」をご覧ください。

3 スケジュール管理

3.1 起動画面におけるスケジュールの管理

ローカル再生モードを選択すると、ローカル再生の起動画面に入ります。ローカル再生モードのスケジュールデータは更新完了後、非同期再生モードに自動同期されます。

図3-1 ローカル再生の起動画面



3.1.1 スケジュールの新規作成

スケジュールを新規作成前にスクリーンのサイズを事前に取得してください。

スケジュールを新規作成する方法は以下2つあります。

- **+** をクリックし、「確定」をクリックします。
- **+** をそのままダブルクリックします。

3.1.2 過去スケジュールを開く

過去スケジュールを開く方法は2つあります。

- スケジュールリストでスケジュールをクリックし、「確定」をクリックします。
- スケジュールリストでスケジュールをそのままダブルクリックします。

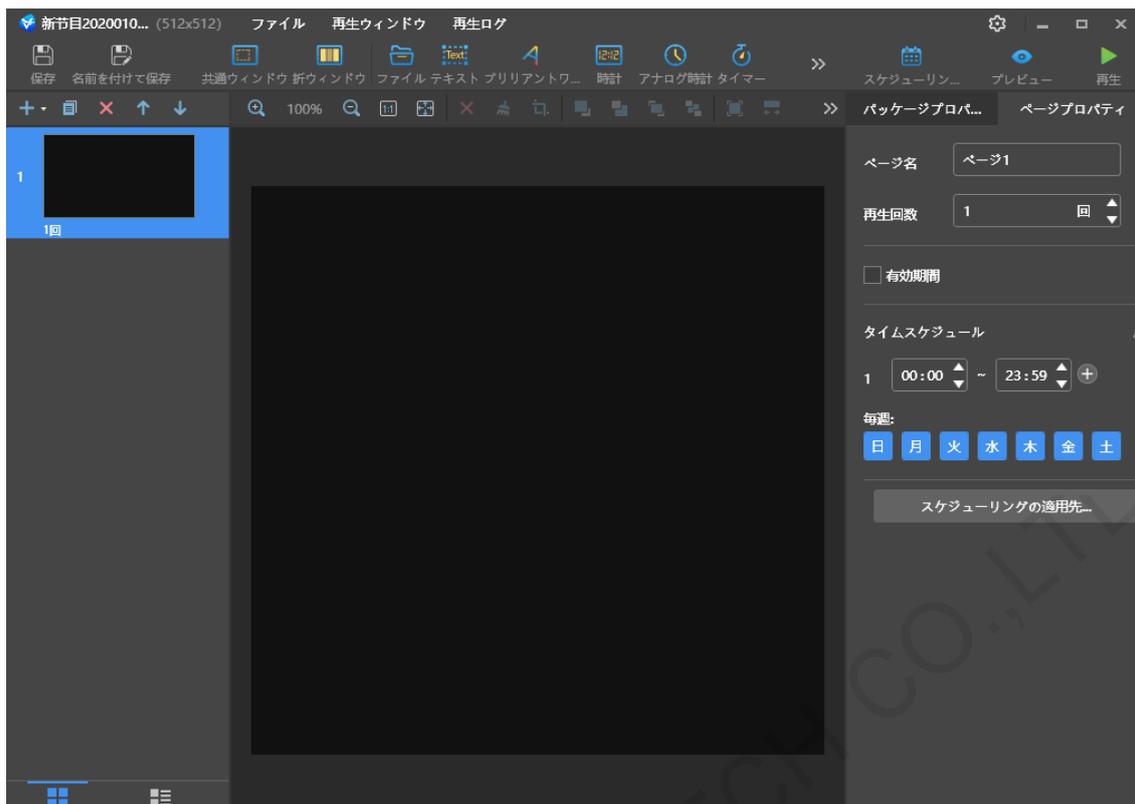
3.1.3 スケジュールの削除

スケジュールリストでマウスポインタを削除待ちスケジュールに移動し、**X** をクリックします。

3.2 スケジュールの編集ページにおけるスケジュールの管理

スケジュールを新規作成するかスケジュールを開くと、スケジュールの編集ページに入ります。

図3-2 スケジュールの編集ページ



3.2.1 スケジュール名の変更

メニューバーから「ファイル > 新規名前を付ける」を選択し、新しいスケジュール名を入力して「確定」をクリックします。

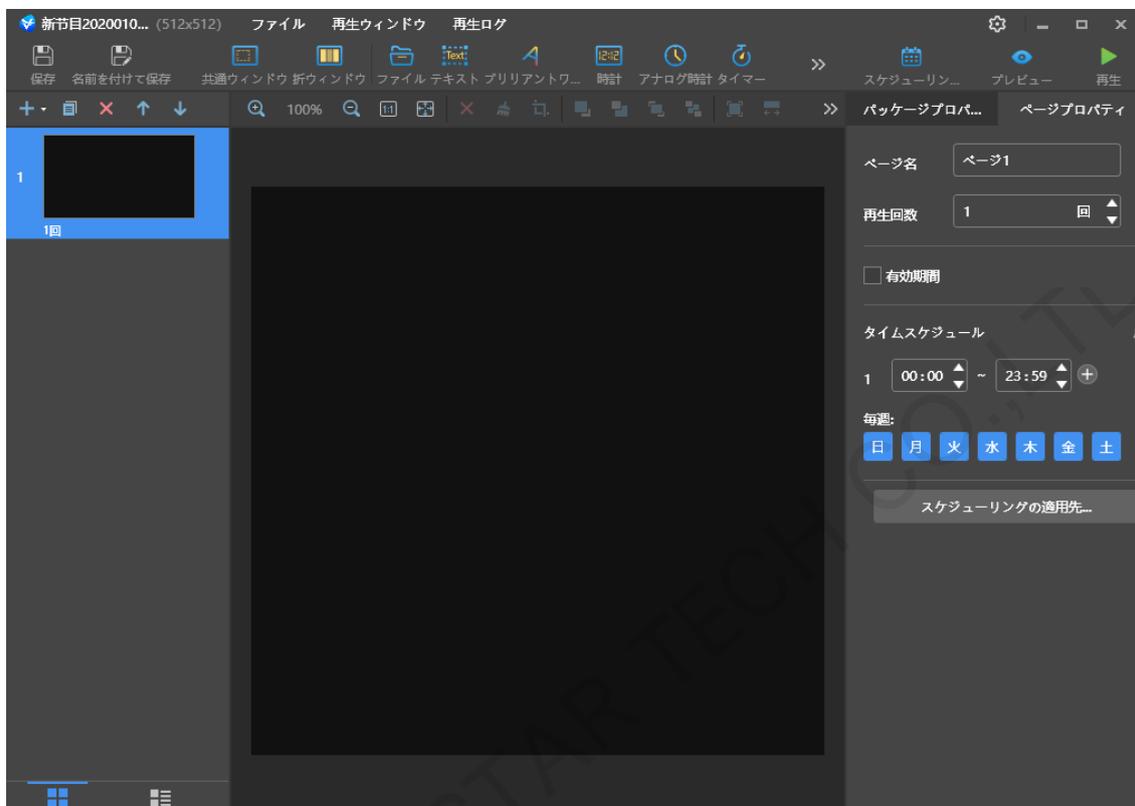
図3-3 名前の変更



4 スケジュールの作成

スケジュールを新規作成するかスケジュールを開くと、スケジュールの編集ページに入ります。

図4-1 スケジュールの編集ページ



4.1 スケジュールの編集

4.1.1 ページの追加

ページは上から下へと順次再生されます。

追加方法

-  をクリックし、空白ページを直接追加します。
-  の隣にある  をクリックし、「ページテンプレート」というダイアログボックスを開きます。カスタムテンプレートかシステムテンプレートを選択し、「適用」をクリックします。
カスタムテンプレートの詳細は「[4.2 カスタムテンプレート](#)」をご覧ください。

その他操作

-  : 選択されているページをコピーします。
-  : 選択されているページを削除します。
-  : ページを一つ上へ移動します。
-  : ページを一つ下へ移動します。

プロパティについて

図4-2 ページプロパティ

- 「ページ名」：現在ページの名前。
- 「再生回数」：ページの連続再生回数。
- 「有効期間」：ページの有効期限。チェックをつけると、パラメータ「開始日」と「終了日」が表示されます。スケジュール再生時に期限切れとなったページをスキップします。
- 「タイムスケジュール」：ページを再生する時間・サイクル。プレイプランに他のページと時間帯が重なった場合は、ページ順に上から下へと順次再生されます。

例えば、図 4-2 では土曜・日曜の 18:00～21:00 となると現在ページが再生されることとなります。

- : スケジュールリングの追加
- : スケジュールリングの削除。スケジュールリングが 1 つ以上ある場合は、このボタンが表示されます。
- : スケジュールリングのクリア。ソフトウェアではデフォルトスケジュールリングを 1 つ残します。
- 「スケジュールリングの適用先」：スケジュールリングを他のページに利用し、ページを複数選択して適用することが出来ます。

4.1.2 コンテンツの追加

コンテンツアイコンをクリックし、コンテンツを追加してプロパティを編集します。

対応コンテンツタイプは表 4-1 に示すようです。環境モニタリングコンテンツには対応しません。「領域」はすべてのコンテンツにあるプロパティであり、折ウィンドウ以外のコンテンツの座標と幅・高さの設定に使用します。コンテンツの他プロパティの説明は表をご覧ください。

表4-1 コンテンツタイプ

アイコン	コンテンツについて説明	プロパティについて説明
	共通ウィンドウの追加 バックグラウンドオーディオの設定に対応していません。 共通ウィンドウでは他タイプのコンテンツを追加でき	<ul style="list-style-type: none"> ● 「枠」：ウィンドウフレームのスタイルを設定します。スタイルを選択後、フレームの幅やスクロール速度・方向の設定も可能です。 ● 「オーディオパッケージの追加」：ウィンドウにバックグラウンドオーディオを設定します。 ● 「ウィンドウ」：ウィンドウに他タイプのコンテンツを追加します。

アイコン	コンテンツについて説明	プロパティについて説明
	<p>ます。複数追加時に上から下へと順次再生されます。</p>	<p>共通ウィンドウに他タイプのコンテンツを追加後、コンテンツの基本プロパティと再生プロパティを設定できます。詳細は他コンテンツのプロパティ説明をご覧ください。</p>
	<p>折ウィンドウの追加 折ウィンドウでは LED ディスプレイのウルトラワイド表示を実現できます。</p> <p>スケジュール解像度と端末マッピング幅・高さと一致するかどうか確保し、実際に応じて「ディスプレイ実際の幅と高さ」を設定するように注意してください。折数は実際ディスプレイ幅・高さマッピング幅・高さに応じて計算されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「領域」：コンテンツの座標と幅・高さを表示します。ただし、変更できません。初期設定は再生ウィンドウサイズと一致します。 「ウィンドウ」：コンテンツの折方向を設定します。横折または縦折を選択できます。 「ディスプレイ実際の幅と高さ」：ディスプレイの物理的な幅・高さを設定するには、実際に応じて行わなければなりません。 「一行目オフセット・一列目オフセット」：コンテンツ折後の一行目・一列目のオフセットを設定します。 <p>折ウィンドウではテキスト、画像、ビデオ、プリリアントワードを追加できます。コンテンツを複数追加時に、上から下へと順次再生されます。マルチメディアプレイヤーは折ウィンドウにあるビデオの再生に対応しません。</p> <p>折ウィンドウに他コンテンツを追加後、コンテンツの基本プロパティと再生プロパティの設定が行えます。詳細は他コンテンツのプロパティ説明をご覧ください。</p> 
	<p>Office ファイル、画像、ビデオ、GIF の追加 画像はバックグラウンドオーディオの設定に対応しません。</p> <p>ビデオ形式は「8.2 ローカル再生に対応のビデオ形式」をご覧ください。</p>	<p>Office ファイルのプロパティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「基本情報」：コンテンツ名を表示し、反転色かオリジナルカラーの表示を設定します。Word ファイルについて、レイアウト方法の設定もできます。 「再生プロパティ」：ページ毎の再生時間、開始効果、効果時間、ファイル再生総時間を設定します。 「操作」：ファイルの前頁・次頁を表示します。 <p>レイアウト方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動レイアウト」：Word ファイルコンテンツの幅・高さに応じて Word ページサイズを調整してから、Word 中国語文字を再生します。 「オリジナル」：Word ページサイズを保ったまま再生ウィンドウ幅・高さに合わせて Word 文字を再生します。 「マージンを残す」：「オリジナル」を選択時に、「マージンを残す」を選択することで、Word ファイルのオリジナルなマージンを残すことができます。 <p>画像プロパティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「基本情報」：コンテンツ名を表示し、ファイルパスを設定します。 「オーディオコンポーネントを追加」：画像にバックグラウンドオーディオを設定します。 「再生プロパティ」：再生時間、再生回数、開始効果、効果時間を設定します。 <p>ビデオプロパティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「基本情報」：コンテンツ名を表示し、ファイルパスとコンテンツボリュームを設定します。 「再生プロパティ」：再生時間を表示し、再生回数を設定します。

アイコン	コンテンツについて説明	プロパティについて説明
		GIF プロパティ 「基本情報」：コンテンツ名を表示し、ファイルパス、再生時間、再生回数を設定します。
	テキストの追加 コンテンツをダブルクリックして「テキスト編集」ダイアログボックスをポップアップし、テキストの内容とスタイルを編集します。テキストスタイルは基本プロパティにおいても編集できます。 バックグラウンドオーディオの設定に対応します。	<ul style="list-style-type: none"> 「基本情報」：コンテンツ名を表示し、テキストのスタイル、文字の幅・間隔、上下オフセット、コンテンツ背景色を設定します。そのうち、上下オフセットはテキストの内容が Y 座標値の上下オフセット量に対応します。 「オーディオコンポーネントを追加」：テキストにバックグラウンドオーディオを追加します。 「再生プロパティ」：再生方法によっては設定できるプロパティが異なります。ページ移動、スクロール、スタティックの再生方法を設定できます。
	ブリリアントワードの追加 コンテンツの基本プロパティでテキストの内容とスタイルを編集します。	「基本情報」：コンテンツ名を表示し、テキストの内容、スタイル、文字の幅、ブリリアントワード効果、首尾接続、首尾間隔、スクロール方向、スクロール速度、再生時間、コンテンツ背景色を設定します。
	デジタル時計の追加	「基本情報」：コンテンツ名を表示し、所属タイムゾーン、表示内容、日付スタイル、タイムスタイル、表示項目、文字スタイル、再生時間を設定します。
	アナログ時計の追加	「基本情報」：コンテンツ名を表示し、所属タイムゾーン、時間目盛り、分目盛り、短剣カラー、長剣カラー、秒剣カラー、文字盤の文字の内容・スタイル、再生時間、日付の表示・非表示を設定します。 時間目盛りとは文字盤にある時間の表示スタイルを設定すること、分目盛りとは分間の表示スタイルを設定することです。
	タイマーの追加 カウントダウンまたはカウントアップに設定できます。	「基本情報」：コンテンツ名を表示し、時間計算方法、到着日、表示項目、固定文字、表示スタイル、文字スタイル、再生時間、コンテンツ背景色を設定します。
	天気コンテンツの追加	「基本情報」：コンテンツ名を表示し、関連都市、表示項目、温度単位、温度単位記号、表示スタイル、文字スタイル、データ更新サイクル、再生時間を設定します。 「カスタムラベル」をクリックし、表示項目名を変更することができます。 天気データは指定した更新サイクルに沿って更新されます。
	RSS の追加	「基本情報」：コンテンツ名を表示し、関連アドレス、更新サイクル、再生方法、ページ毎の再生時間、開始効果、効果時間、再生総時間、選択可能な内容・スタイル、本文スタイルを設定します。 RSS の内容は指定した更新サイクルに沿って更新されます。 選択可能な内容はタイトルと配信時間があります。
	ストリーミングメディアの追加	「基本情報」：コンテンツ名を表示し、関連アドレスと再生時間を設定します。
	ウェブページの追加	<ul style="list-style-type: none"> 「基本情報」：コンテンツ名を表示し、関連アドレスを設定します。 関連アドレスは実際アドレスと一致しなければなりません。例えば、実際アドレスは https://www.xxx.com の場合は、http://www.xxx.com に設定できません。 「再生プロパティ」：再生時間を設定します。

4.1.3 コンテンツの調整

コンテンツを追加後、コンテンツに対し編集領域の上にあるボタンを利用して調整を行います。

表4-2 機能ボタンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
	編集領域の拡大		編集領域の縮小
	オリジナル比率による編集領域の表示		画面サイズによる編集領域のアダプティブ拡縮
	選択されているコンテンツの削除		コンテンツをすべてクリア
	画像トリミング		前面にする
	背面にする		最前面にする
	最背面にする		全画面塗りつぶし
	横塗りつぶし		縦位置の充填
	縦位置 上詰め		縦位置 中央揃え
	縦位置 下詰め		横位置 左詰め
	横位置 中央揃え		横位置 右詰め

4.2 カスタムテンプレート

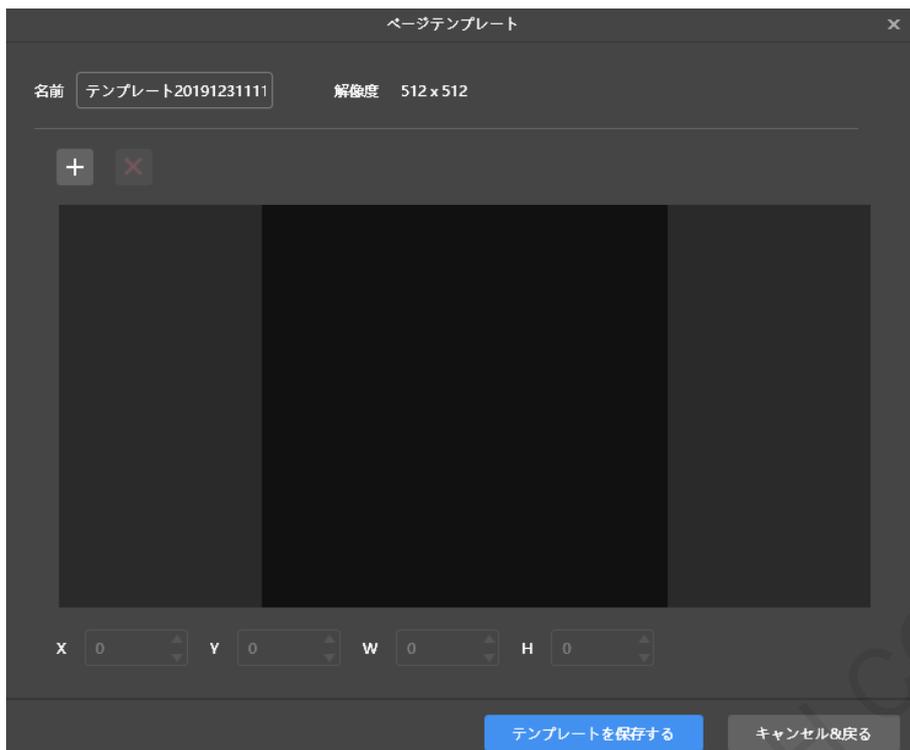
手順1 の隣にある をクリックし、「ページテンプレート」ダイアログボックスを開きます。

図4-3 ページテンプレート



手順2 をクリックし、テンプレートの編集画面に入ります。

図4.4 カスタムテンプレートの追加



手順3 テンプレート名を設定し、**+**をクリックしてウィンドウを一つか複数追加します。

手順4 ウィンドウをクリックし、座標と幅・高さを設定します。

手順5 設定完了後、「テンプレートを保存する」をクリックします。

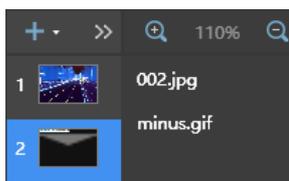
4.3 ビューの切替

ページリストの下にあるボタンをクリックし、リストビューを切り替えます。

-  : リストではページのサムネイルしか表示されません。



-  : リストではページのサムネイル、現在選択されているページにあるコンテンツ名が表示されます。



4.4 スケジュールのプレビュー

画面の右上にあるをクリックし、現在ページをプレビューします。
プレビューウィンドウを開くときは、他のページを選択してプレビューを行うこともできます。現在ページを変更した場合は、もう一度をクリックすればプレビューウィンドウが更新されます。

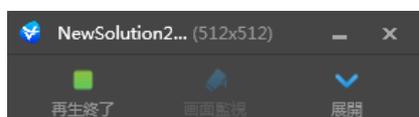
4.5 スケジューリングの表示

画面の右上にあるをクリックし、スケジュールスケジューリングを表示します。

4.6 スケジュールの再生

画面の右上にあるをクリックし、スケジュールを再生します。ソフトウェアではスケジュールの編集画面が表示されませんが、再生コントロールバーが表示されます。

図4-5 再生コントロールバー



- : 再生を終了し、スケジュールの編集画面を表示します。
- : スケジュールの編集画面を展開します。
- : スケジュールの編集画面を収納します。

4.7 画面のモニタリング

拡張スクリーンを設定して同スクリーンでスケジュールを再生時に、再生コントロールバーにあるをクリックし、メインディスプレイで現在再生している画面に対しモニタリングを行うことが出来ます。

図4-6 画面モニタリング



5 再生ウィンドウ

5.1 再生ウィンドウの設定

スケジュールの編集画面では、メニューバーから「再生ウィンドウ > 再生ウィンドウ設定」を選択し、再生ウィンドウの座標や幅・高さ、最前面へ移動のルールを設定を行います。「デスクトップと同様にする」にチェックを付けている場合は、再生ウィンドウはデスクトップのサイズと一致します。

図5-1 再生ウィンドウの設定



5.2 再生ウィンドウの表示・非表示

- 再生ウィンドウを表示時に、スケジュールの編集画面では、メニューバーから「再生ウィンドウ > 再生ウィンドウを非表示」を選択し、再生ウィンドウを非表示にすることができます。
- 再生ウィンドウを非表示にする時は、スケジュールの編集画面では、メニューバーから「再生ウィンドウ > 再生ウィンドウを表示」を選択し、再生ウィンドウを表示することができます。

再生ウィンドウを表示・非表示にするデフォルトショートカットは「Ctrl+H」です。「 > 選好設定」において変更が行えます。

6 再生ログ

6.1 再生ログの検索

手順1 スケジュールの編集画面でメニューバーから「再生ログ」を選択します。

図6-1 再生ログ



手順2 時間範囲を設定し、「検索」をクリックします。

当日の再生ログの表示に対応しません。

手順3 検索結果リストで日付をクリックし、再生ログの概要と詳細を表示します。

手順4 (任意選択) 「戻る」をクリックし、検索結果リストに戻ります。

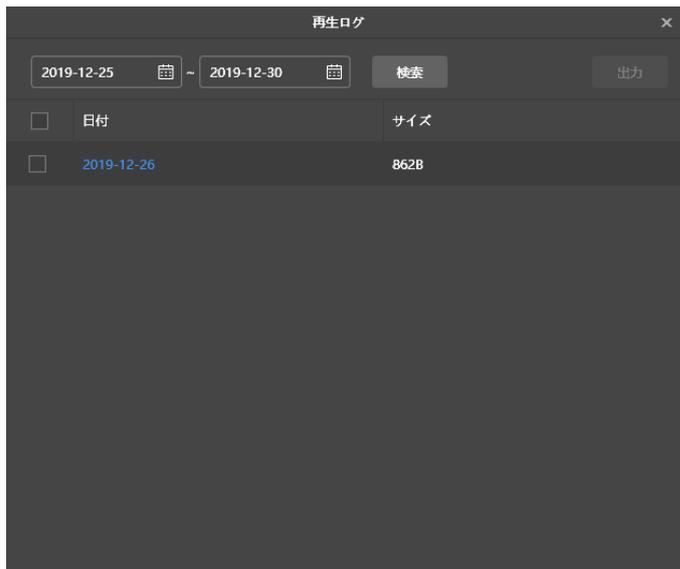
6.2 再生ログのエクスポート

手順1 スケジュールの編集画面でメニューバーから「再生ログ」を選択します。

手順2 時間範囲を設定し、「検索」をクリックします。

当日の再生ログの表示に対応しません。

図6-2 検索結果



- 手順3 エクスポートしたい履歴にチェックを付け、「出力」をクリックします。
- 手順4 ポップアップされたダイアログボックスから、エクスポートのパスと形式を選択します。
- 手順5 「確定」をクリックします。

7 システム設定

ローカル再生の起動画面とスケジュールの編集画面にある右上からシステム設定の機能アイコンを選択できます。

7.1 言語切替

「 > 言語」を選択し、下の層にあるサブメニューから必要な言語を選択します。

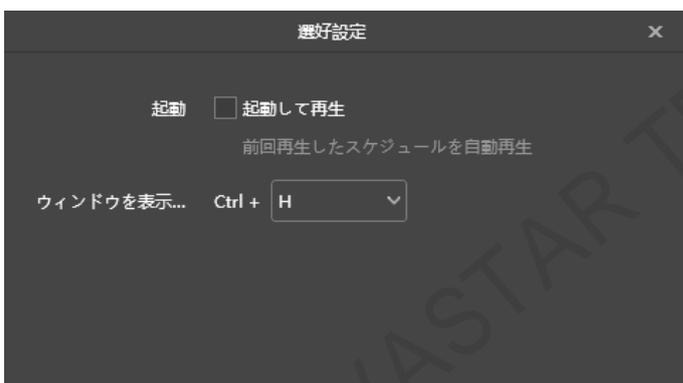
7.2 動作モードの切替

「 > 動作モード > 非同期再生」を選択し、非同期再生モードに切り替えます。

7.3 選好設定

「 > 選好設定」を選択し、「選好設定」ダイアログボックスを開きます。

図7-1 選好設定



7.3.1 起動して再生

「起動して再生」にチェックを付けると、今度起動すると前回再生したスケジュールが自動再生されます。

7.3.2 再生ウィンドウを表示・非表示にするショートカットの設定

プルダウンからアルファベットキーを1つ選択し、「Ctrl」キーと共に再生ウィンドウを表示・非表示にするショートカットを作成します。

7.4 ユーザーマニュアルの表示

「 > ユーザー・マニュアル」を選択し、ソフトウェアに付属のユーザーマニュアルを表示します。

また、[図7-2](#)に示すように、ローカル再生の起動画面で左側のメニューから「ユーザー・マニュアル」を選択することもできます。

図7-2 起動画面メニュー



7.5 ソフトウェアアップデートの検出

「 > 更新検出」を選択し、ポップアップされたダイアログボックスでソフトウェアをアップデートできるかどうかを確認します。アップデートできる場合は、「ダウンロードしてアップデート」をクリックしてソフトウェアをオンラインアップデートすることができます。

7.6 フィードバックの送信

「 > フィードバックを送信」を選択し、ポップアップされたダイアログボックスで WeChat 公式アカウントをフォローして問題のフィードバックを送信するか E-mail サポートまでメールでご送信ください。

図7-3 フィードバックの送信



また、 に示すように、ローカル再生の起動画面で左側のメニューから「フィードバックを送信」を選択することもできます。

図7-4 起動画面メニュー



7.7 ソフトウェア情報の表示

「 > 当ソフトウェアについて」を選択し、ポップアップされたダイアログボックスでソフトウェアに関する情報を表示します。

8 FAQ

8.1 ファイアウォールインバウンドの設定ルール

手順1 Windows スタートメニューにある  をクリックします。

手順2 「Update & Security」を選択します。

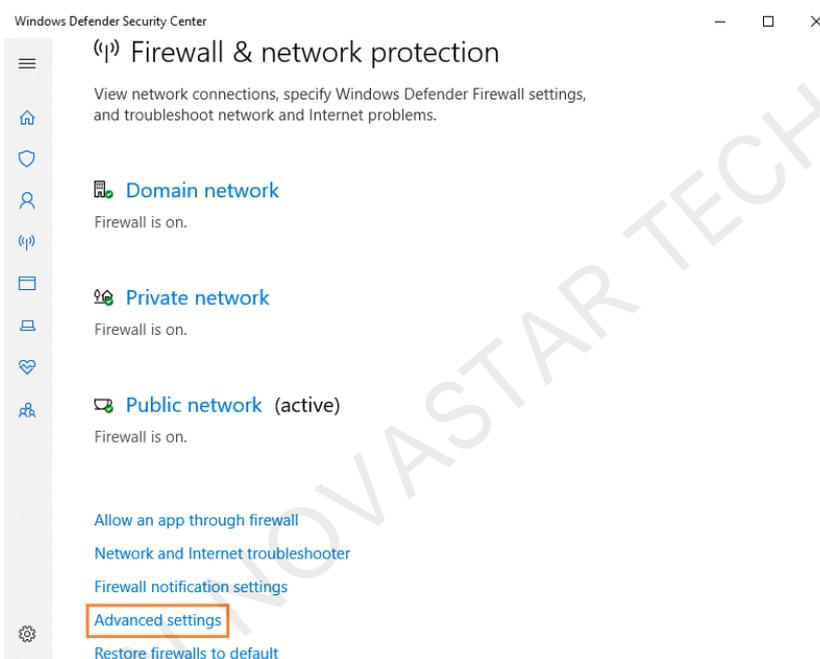
手順3 「Windows Security」を選択します。

手順4 「Open Windows Defender Security Center」をクリックします。

手順5 「Firewall & network protection」をクリックします。

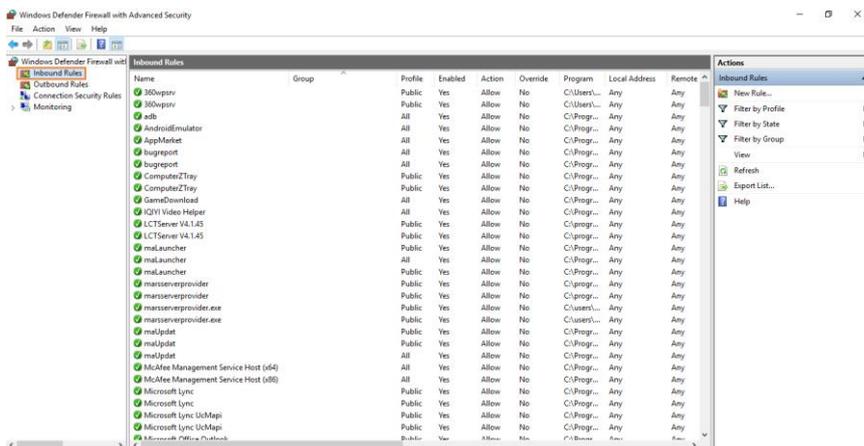
手順6 「Advanced Settings」をクリック、「Yes」をクリックします。「Windows Defender Firewall with Advanced Security」ダイアログボックスを開きます。

図8-1 詳細設定



手順7 「Inbound Rules」をクリックします。

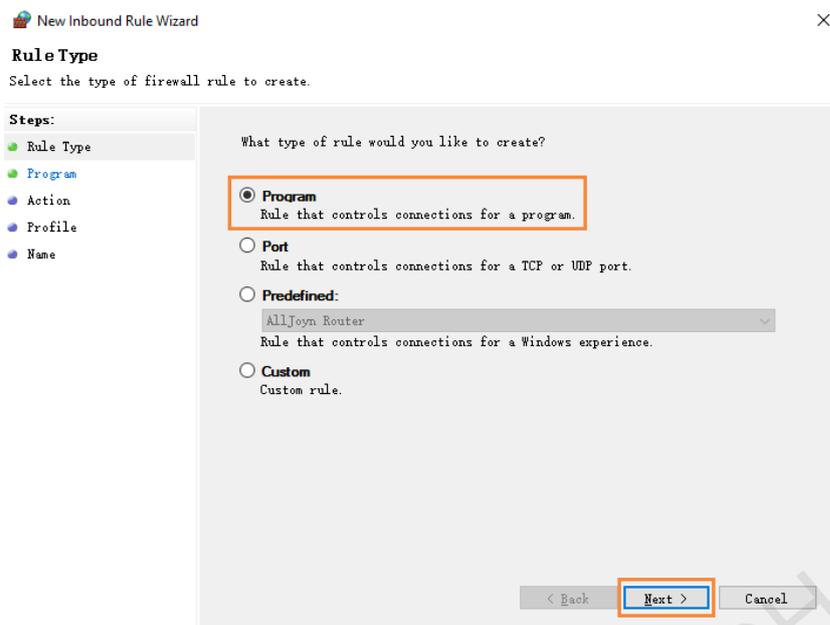
図8-2 インバウンドルール



手順 8 右側にある「New Rule」をクリックし、「New Inbound Rule Wizard」ダイアログボックスを開きます。

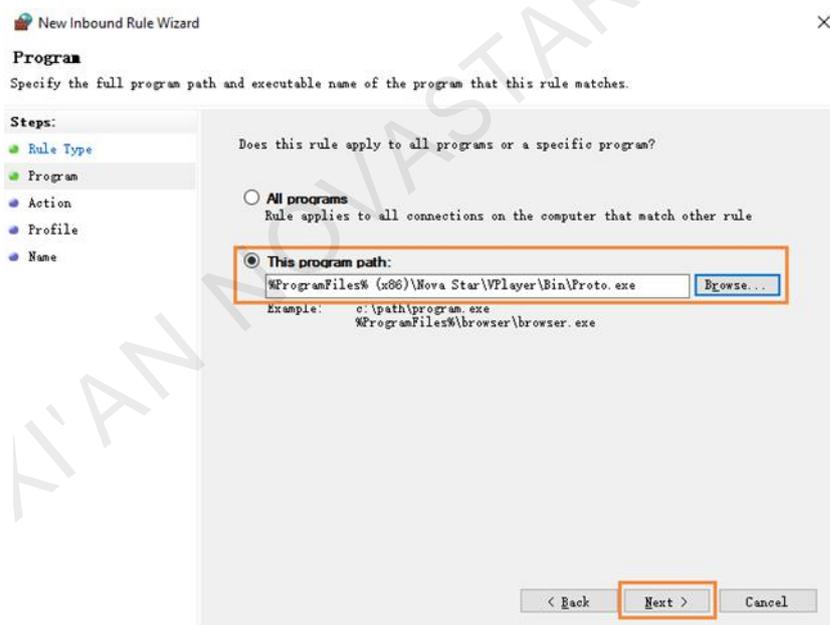
手順 9 「Program」を選択し、「Next」をクリックします。

図8-3 ルールの種類



手順 10 「Browse」をクリックしてローカルから「Proto.exe」を選択し、「Next」をクリックします。

図8-4 プログラムの選択



手順 11 「Allow the connection」を選択し、「Next」をクリックします。

手順 12 「Domain」、「Private」、「Public」にチェックを付け、「Next」をクリックします。

手順 13 名前を入力し、「Finish」をクリックします。

8.2 ローカル再生に対応のビデオ形式

ローカル再生に対応のビデオ形式は以下のようです。

.3g2、.3gp、*.3gp2、*.3gpp、*.amv、*.asf、*.avi、*.bik、*.bin、*.divx、*.drc、*.dv、*.f4v、*.flv、*.gvi、*.gxf、*.iso、*.m1v、*.m2v、*.m2t、*.m2ts、*.m4v、*.mkv、*.mov、*.mp2、*.mp4、*.mp4v、*.mpe、*.mpeg、*.mpeg1、*.mpeg2、*.mpeg4、*.mpg、*.mpv2、*.mts、*.mxf、*.mxg、*.nsv、*.nuv、*.ogg、*.ogm、*.ogv、*.ps、*.rec、*.rm、*.rmvb、*.rpl、*.thp、*.tod、*.ts、*.tts、*.txd、*.vob、*.vro、*.webm、*.wm、*.wmv、*.wtv、*.xesc

そのうち、AVI は MPEG-2、MPEG-4、MPEG-4 ASP、H.264、DivX 4/5/6、XviD、SV1、3ivX D4、H.264/MPEG-4 AVC/MKV、AMR、WebM、WMV、MP3 でエンコードするビデオにのみ対応し、DX50、MP4V でエンコードする AVI ビデオは再生に対応しません。

ビデオ形式は対応しない場合は、プロ向けビデオ変換ソフトウェアを利用することをお勧めします。

XI'AN NOVASTAR TECH CO.,LTD

著作権は © 2020 Xi'an NovaStar Tech Co., Ltd. が所有しています。無断複写または転載を禁じます。

当社の書面による許可なしに、この文書の内容の一部またはすべてをコピー並びに複製することを禁止します。また、いかなる形式でも送信することを禁止します。

ブランドステートメント

 **NOVA STAR** はNovaStarの登録商標です。

ステートメント

Xi'an NovaStar Tech Co., Ltd. (以下はNovaStarという) の製品をご利用いただき誠にありがとうございます。この文書が、お客様の製品の理解と使用の助力となり便利になることを期待しております。文書の作成において正確かつ信頼できるものであるよう努めておりますが、予告無く変更になる場合があります。何卒ご了承ください。ご利用中にご意見またはご質問等がありましたら、記載した連絡先までご連絡ください。当社がご利用中にあったご不明な点について対応し、ご意見については謝意を

公式サイト
www.novastar.tech

技術サポート
support@novastar.tech